



学校だより

きずな

【学校教育目標】 なりたい自分になる

熊野町立熊野第一小学校
令和8年7月16日
校長 梶 弘樹



子供たちの思いや願い

～乗り越えた時の思い～

野外活動がありました。江田島青少年交流の家で、5年生がキャンプファイヤーや野外炊飯など、1泊2日の体験学習を行いました。

野外活動が終わった後、5年生の子供たちに「どの活動が一番楽しかった？」と聞くと、「カッター研修です」と答えてくれました。他の児童に聞いても、同様の答えが返ってきます。

「どうして？」と尋ねると、「手は痛かったけれど、最後まで頑張れたから」「最初は難しかったけれど、上手にカッターを漕げるようになったから」などと話してくれました。



カッター研修は、とても厳しい研修です。返事の仕方や話を聞く姿勢、立ったり座ったりする動作など、一つ一つを徹底して指導されます。それでも、子供たちは「カッター研修が一番楽しかった」と話します。それはなぜでしょうか。おそらく、厳しい研修を仲間とともに乗り越えた時の達成感の中で、自分自身の成長を実感したからではないでしょうか。自分一人では諦めてしまいそうなことも、仲間となら乗り越えられる。みんなで力を合わせてカッターを漕ぎ、心をつにして前へ進みたい。そんな思いで子供たちは研修に取り組んだのだと思います。

海の上で感じた爽快感や、陸に戻った時の大きな達成感を、これからも忘れずにいてほしいと思います。



～かなえたい願い～

7月の伝統的な行事である七夕に合わせて、CS委員会の子供たちが「CS七夕祭り」を企画しました。6月末の大休憩に地域の方々と一緒に七夕飾りを作り、7月の委員会の時間には、CS委員会の子供たちと地域の人で、心を込めて笹飾りを完成させました。七夕の笹は、地域の方が準備してくださいました。笹の葉には、願い事を書いた短冊や色とりどりの折り紙飾りがたくさんつるされています。

「もっと友だちと仲良くすごしたい」「薬剤師になれますように」など、一人一人の願いが短冊いっぱいにかかれ、見ただけで子供たちの思いが伝わってきます。子供たちにとって、地域の方々と一緒に七夕の伝統に親しむ、心温まる取組となりました。

ご協力いただいた地域の皆様、ありがとうございました。



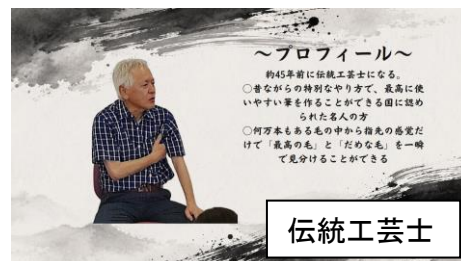
地域の宝「ひと・もの・こと」

第5学年の「総合的な学習の時間」では、「みんなを笑顔にする5 BEYOND～地域のプロに学ぶ～」の単元で、地域で働く人々との関わりを通して、自分自身の在り方や役割について探究する学習に取り組んでいます。

1学期は、熊野の伝統産業である「熊野筆」に関わる多様な立場の5名の方から直接学び、仕事について多面的多角的に考えることができました。

仕事は「しんどい」「いそがしい」「お金のため」というイメージをもっていた児童が多かったのですが、インタビューを通して、「相手の人に喜んでほしい」「もっとよりよく」「つなげていきたい」という思いをもって仕事をされていることに気付くなど、仕事に対するイメージも変わってきているようです。

「もっと聞いてみたい」「もっと知りたい」。地域の宝「ひと・もの・こと」のおかげで学びが充実しています。



子供たちの作った「仕事の達人」スライドの一部です。

ドリームメンバー も大活躍 (CS 学校サポーター)

いつも
ありがとう

地域の方と飾りをつけました。

飾る竹も地域の方が準備してくださいました。

みんなで飾りを作るときも一緒に教えてくださいました。

給食委員会は、地域の野菜名人に質問に答えてもらってクイズ作成中。旬の野菜には秘密がいっぱいです。

給食委員会
野菜クイズづくり

生活委員会は、地域の方から「ポイ捨てから一緒に考えよう」とお話をいただき、みんなでゴミについて考えました。自分たちにできることは……。

生活委員会
ゴミについて考える

CS 委員会 セタかざり